

市民の「ミカタ」でもっと伝わる

第2期 高知市広聴広報戦略プラン〈概要版〉

1

策定の目的

情報通信技術や社会状況の変化に伴い、市政に対する市民ニーズやまちづくりの課題も多様化し、行政に求められる広聴広報の在り方も変化しています。自治体の広聴広報を取り巻く現状、本市における課題やめざす姿を明らかにし、職員一人一人がより戦略的な広聴・広報の取組を展開するための実行計画として本プランを策定しました。



計画期間

2020(令和2)年度～2023(令和5)年度

2

テーマ基本戦略

第1期では、「伝わる」という大きな目標を掲げ、仕組みづくりに取り組みました。第2期では、職員一人一人が「市民の見方」を意識して「市民の味方」となる意識改革を重視します。

受け取った市民がどう感じるかを想像し、市民の気持ちに寄り添って、市民の「ミカタ」を徹底的に考える、市民協働による「高知市型共生社会」と「市民と行政のパートナーシップのまちづくり」をめざします。

市民の見方

高齢者の見方	→ 見やすい字
子どもの見方	→ 分かりやすい言葉
若者の見方	→ SNSを活用
忙しい人の見方	→ 活字より動画
働く人の見方	→ 平日より休日
見えにくい人の見方	→ ユニバーサルカラー 点字・音声 など

市民の味方



3

市民に向けた取組

市民のミカタで 広聴

出前講座

各課が行っている出前講座を分野別に取りまとめた一覧を作成。市の施設等での配布やホームページに掲載し、申請窓口を一本化するなど、市民が分かりやすく、利用しやすい仕組みをつくる。

令和元年度 実績件数の多かったテーマ

● 防災関連	84件
● 知って役立つ！健康づくり情報	15件
● 異文化理解講座	9件

その他事業

- ・市長と語る会
- ・市民の声
- ・市民ウェブモニター制度
- ・気軽に投稿できる仕組みづくり

市民のミカタで 広報

動画広報の効果的な活用

既存の動画コンテンツを整理し、効果的な活用を検討するとともに、訴求力の高い動画という手段を使った新たなコンテンツにより、市政への関心を高める。

まちを好きになってもらう事業

高知市の魅力を県内外、特に市民に向けて発信。高知市をもっと好きになってもらい、住み続けたい(住んでみたい)と思えるまちをめざす。

その他事業

- ・広報「あかるいまち」の充実
- ・高知市公式ホームページの充実
- ・SNSを活用した情報発信と情報共有
- ・新たな広報媒体の発掘

4

庁内に向けた取組

市民のミカタに スキルアップ

広聴・広報活動の見える化

高知市全体の広聴・広報を戦略的に進めるために、「あかるいまち」や市長定例記者会見等に取り上げるトピックスを集約し、各課が重点的に行う広聴・広報活動の見える化を図る。

- 効果的なアドバイスやノウハウの提供を行うために、各課が行う広聴・広報活動を広聴広報課と各課自らが把握する。
- 見える化で判明した課題の対策としてアドバイス等を行うとともに、全庁的に行う広聴・広報活動や、事業同士の効果的な連携を検討する。
- 見える化で整理された広聴・広報活動計画を実行段階でも各課で活用する。

その他事業

- ・広聴広報担当者の役割の再検討
- ・広聴広報ノウハウの提供、マニュアルの充実